

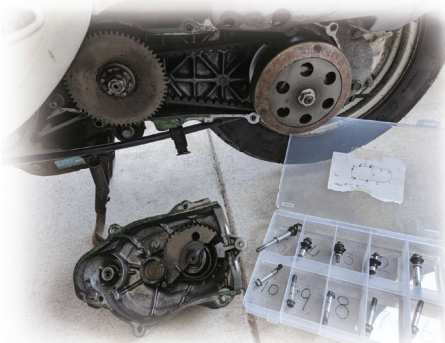


ちょうこ

1週間。休みを利用して直すが、ジョルくんは走らず。他のところの交換を考え、また注文。今度は後ろ側のクラッチとスプリングの交換に奮闘する休日でした。



●購入したものはVベルトに加え、クラッチ、センタースプリングとクリーナーやグリス、シヨップタオルなど。



置いて行けば、ここまで取りに来なくてはならず、押して帰る事に決めた。そうとは言え以外に大変さが身に沁みってくる。途中、何度も休憩をしながら、首に巻いたタオルで止めどなく吹き出すしぼり汗を拭く。引っ張る腕はピクピクガクガクでした。自宅到着まで2時間半かかり、運動不足を実感することになりました。あくる日に原付を購入した店へ連絡したが、持って来てくれたら直すと言われ、売るだけで運んでくれないんだ！自分で直せば煩わしさが無いと思ひ、その日からユーザープでの勉強と部品の注文に。部品が揃うまでに約

9月某日、残業を終えた帰宅途中、時刻は20時半を回った。突然足元からパコンというかなり大きな音がして、愛車のジョルくんのスロットルを回しても進まない。頭が真っ白になつてぐるぐる駆けめぐる!!

原付のベルトが切れたらどう  
——自分で直すの巻——



私の『写真フォルダ：雲』の報告書



何が「よもやまのネタ」をと携帯の写真を漁っていたら雲の写真の多いこと！写真フォルダで検索をかけてみたら約1000枚！その瞬間にしか見れない雲が私は好きです。



今回紹介するのは虐殺器官です。



こちらは作家の伊藤計劃が2007年に発表した長編SF小説を劇場アニメとして公開したものです。

戦争やテロが激化する中、後進国を中心に虐殺がおこります。そこには常にジョン・ポールというアメリカ人の存在が囁かれています。米軍大尉クラヴィス・シェパードは彼を暗殺するためチェコへと向かうのであった…。

今よりも少しだけ発展した科学技術や現実とは若干違う国家間の関係など程よいフィクションをベースにして独特の世界観をちりばめた物語はリアリティーを感じてしまうほどです。原作の小説とアニメ版では大筋のストーリーは変わりませんが上映時間の制約によりカットされたシーンや一部内容が変更されている箇所がありますが原作の伝えたい事がうまく表現できていると思います。

最初に携わっていた制作会社が倒産し途中で会社が変わっているにもかかわらず作画も映像もクオリティが高いのも本作品の魅力の一つです。

作者は34歳という若さで亡くなっているのですがSF界に大きな影響を与えたと言われています、『ポストヒューマン(人類進化)SF』というジャンルが好きな人ならおすすめです。

# よもやまばなし

## 師走：椿の間

あっという間に12月！11月の暑さと寒さの変化を乗り越えた皆様、いかがお過ごしでしょうか？UEDAでも暑いやら寒いやらで天気の話ばかりしていました。今年は暖冬だそうですが、雪は降るのでしょうか。やたら暑くて寒いと言われる名古屋は果たして…？年末は暖かくしてお過ごしください。



ST

虐殺の文法…怖い



A・F